

最終章・ゆとり教育世代の地域教育

親のやる気 の気づき

〇〇78



先日、「大学教員がアルファベットや小数・分数を教える日本橋学館大学が話題になっている」という報道がありました。本来、小中学校で修めるべき基礎学力から指導するという大学が現れたと。実はこの大学は「訪問入試」という

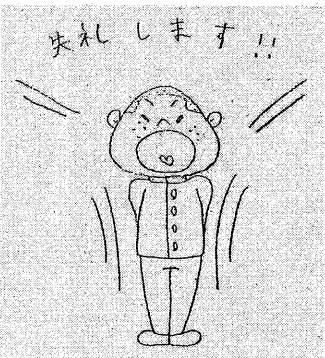
訪問入試

驚くべき推薦入試も行っていきます。一般に大学の推薦入試には、指定校推薦、学校長推薦、AO・自己推薦があります。さらに受験生の元を訪問し面接などを実施してくれるという、まさに「安全・安心・便利」な時代を象徴するかのように入試です。

精神的豊かさを求めて

工夫する楽しさを教える

by yoriko



教室では(長)

返信用封筒に自分の住所氏名を記入する際、元を離れてしまいがちな、子にあって苦勞こそ、子にあって苦勞を与え、精神や感性の空白を埋めていく、地域ぐるみの本気の教育が求められます。

2006年11月9日未開園5周年を25万人が、関西に開園5周年を25万人が、関西に開園5周年を25万人が、関西に開園5周年を25万人が、

児童の



生の志願理由書、面接練習も行っています。先日は、やや緊張気味の高3女子に本番さながら「なぜ医者になりたいのか」と質問をしてみました。すると「はい。今の生活を維持したいからです！」とキッパリと言いました。確かにこの子の父親は開業医で、毎年数回、買い物のため韓国に渡るとは聞いていましたが…。

子どもの意思を大切に

教育

最近「カーリングペ

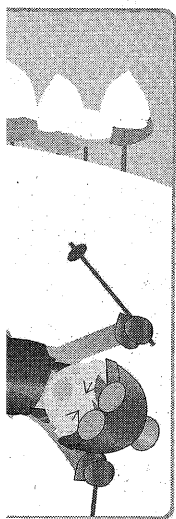
アレント」や「共存」と

いう言葉を耳にします。

結論から言うと、これら

はスポーツの世界では全

ない



プレーをしない子からでしょう。頼りそうな子に親はつい貸し、子も親を頼る「共存」が目立

自分の子どもがスツの世界で活躍した社会に出て人に頼る生き方をしたりする